

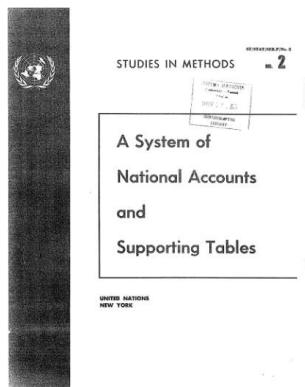
2. 国民経済計算

国民経済計算とは？

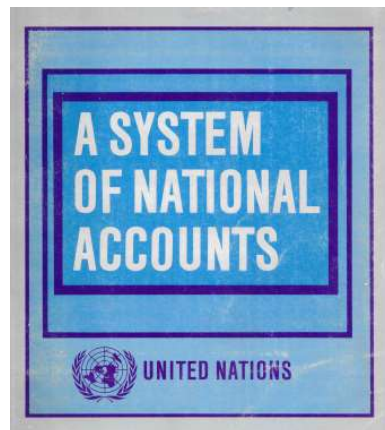
- ◆ **国民経済計算 = SNA** : **S**ystem of **N**ational **A**ccounts
- ◆ 一国経済の動向について、フローとストックの両面から包括的・整合的に記録する**一国全体の会計**。代表的な指標が、**国内総生産 = GDP** : **G**ross **D**omestic **P**roduct)
 - ✓ フロー : ある期間中の取引から生まれた生産・分配・支出等
 - ✓ ストック : ある期末時点における資産・負債、正味資産の残高
- ◆ **国際連合**で採択される**国際基準**に基づき、各国政府が自国のSNAを作成・公表
日本では**内閣府ESRI**が担当
 - ✓ 記録の原則や記録すべき範囲等を示すルールブック。企業にとっての会計基準

国際基準の推移

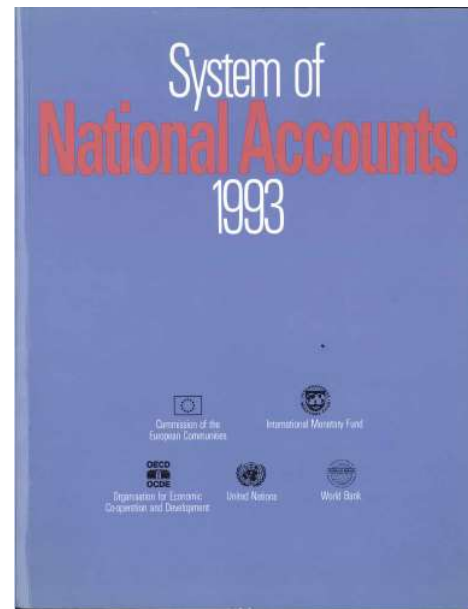
1953SNA
フロー面のみ



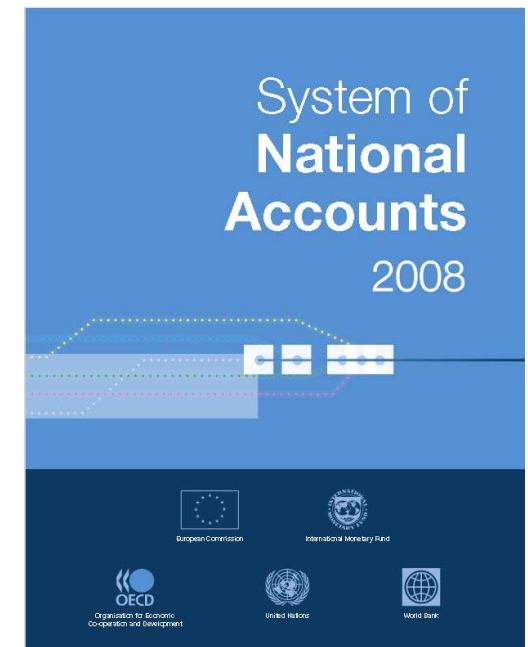
1968SNA
ストック面に拡充



1993SNA
無形資産の反映等



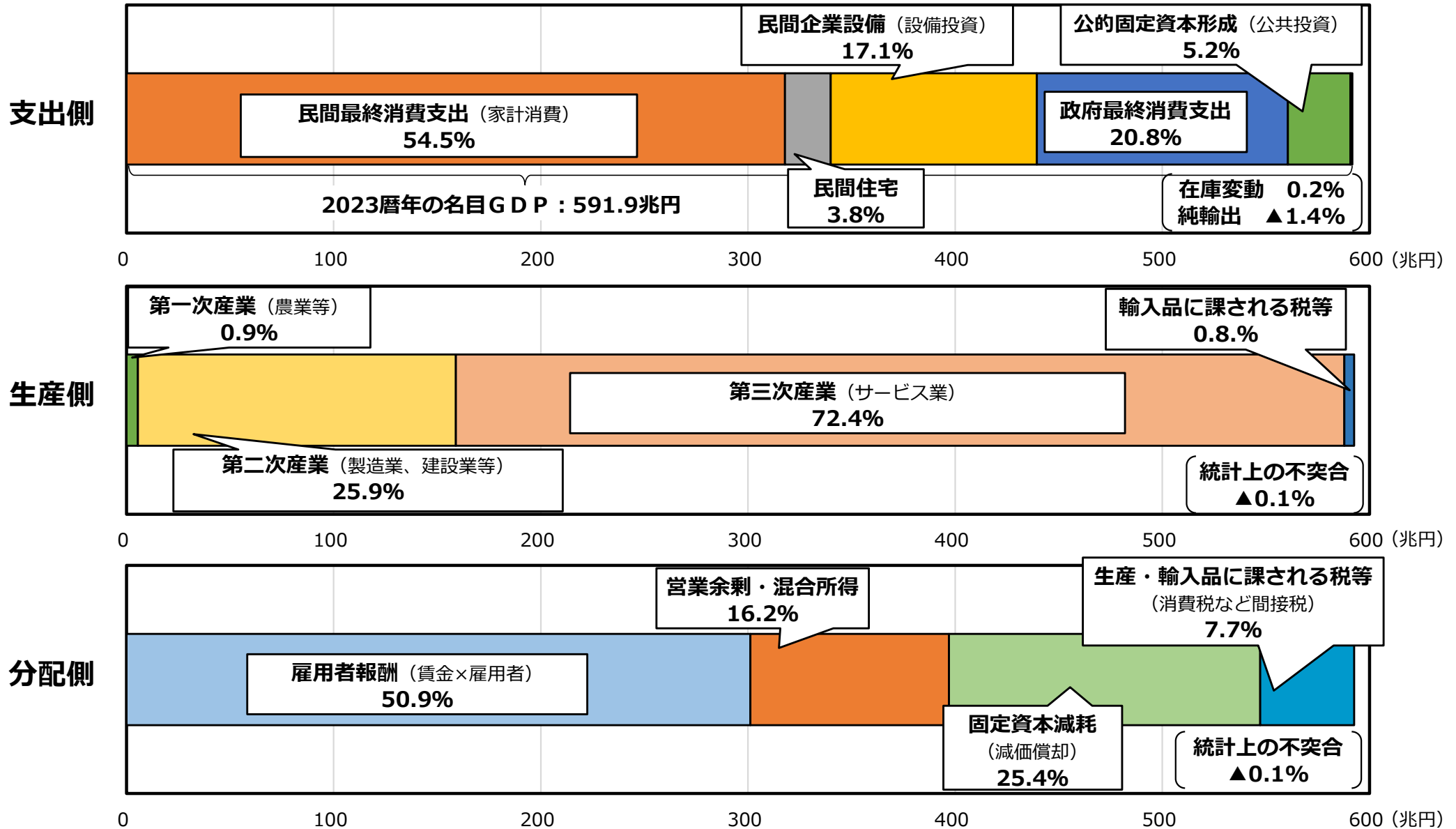
2008SNA
R&D、防衛装備品の反映等



GDPの三面等価

GDP（2023暦年・名目）

GDPには支出、生産、分配の三面があり、概念的には一致する（三面等価）



(出所) 内閣府「2023(令和5)年度国民経済計算年次推計」より作成。図表の数値は四捨五入しており、合計とは一致しない場合がある。

四半期別GDP速報

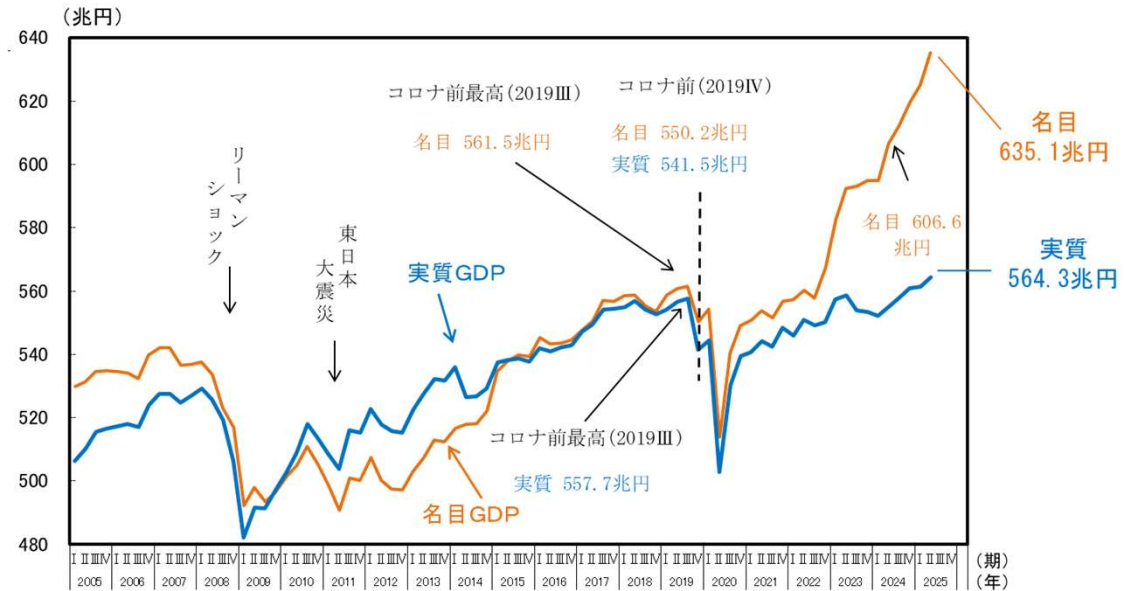
GDP = 家計消費 + 設備投資 + 民間住宅 + 政府消費 + 公共投資 + 在庫変動 + 輸出 - 輸入

- ◆ フローからストックまでのSNAの全体は、年一回「年次推計」として作成・公表。
- ◆ よりタイムリーに経済動向を把握し、景気判断に資する観点から、「**四半期別GDP速報**」(QE: **Q**uarterly **E**stimates of GDP)として、**四半期ごとに支出側GDPや雇用者報酬を作成・公表**。
 - ✓ 1次速報：ある四半期の約1か月2週間程度後に公表
 - ✓ 2次速報：ある四半期の2か月10日程度後に公表

QEで利用している基礎統計の例

| 項目 | 利用している主な基礎統計等 |
|--------|---------------------------------------|
| 家計消費 | 生産動態統計、サービス産業動態統計、家計統計、家計消費状況調査 等 |
| 設備投資 | 生産動態統計、サービス産業動態統計、短観、法人企業統計 等 |
| 民間住宅 | 建築物着工統計 等 |
| 政府消費 | 基金統計月報、国民健康保険等の医療費速報、介護給付費の状況、人事院勧告 等 |
| 公共投資 | 建設総合統計 等 |
| 在庫変動 | 鉱工業指数、商業動態統計、法人企業統計等 |
| 輸出入 | 国際収支統計 等 |
| デフレーター | 消費者物価指数、企業物価指数 等 |

GDP水準の推移



(出所) 内閣府「2025年4-6月期四半期別GDP速報(2次速報値)」より作成。
季節調整系列、年率。実質GDPは2015年価格を参照。

2025SNAに向けて

- ◆ 2025年3月に2008SNAの次の国際基準（2025SNA）が国連統計委員会で採択
 - ✓ 経済のデジタル化・グローバル化の進展、ウェルビーイングに関する様々な論議への対応が大きな柱
- ◆ ESRIでは、OECDや国連の国際会議に参加するなど積極的に議論に参画
また、着実な実装に向け、重要課題の研究プロジェクトを推進中（後述）

デジタル化への対応

2008SNA以降、急速に進展しているデータ経済化などデジタルリゼーションを如何に的確に反映するか
例：データ資本化、暗号資産



グローバル化への対応

グローバル化の更なる進展に如何に的確に対応できるか
例：多国籍企業、ファブレス企業

ウェルビーイング、持続可能性の反映

豊かさの計測に関する議論が深まる中、SNA体系として如何に対応できるか
例：家計の所得・富の分布、人的資本、自然資源の費消

コミュニケーション

統計ユーザーのSNAに対する理解を如何に深める工夫ができるか